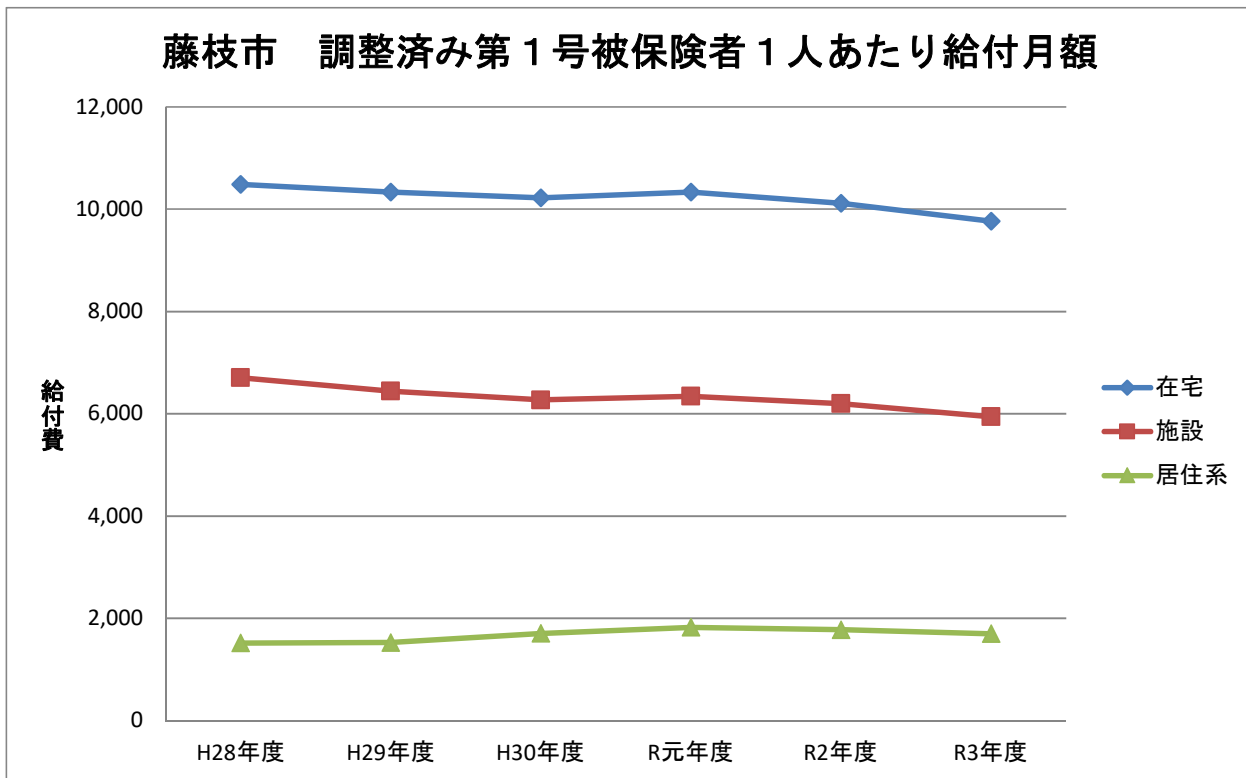


## 2 藤枝市における一人あたりの給付月額状況

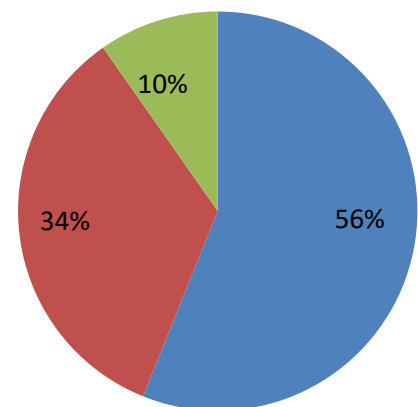
### (1) 藤枝市の各サービス1人あたり給付月額



藤枝市	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
在宅	10,483	10,335	10,221	10,335	10,114	9,765
施設	6,703	6,440	6,269	6,339	6,197	5,944
居住系	1,513	1,522	1,701	1,820	1,774	1,696

### 藤枝市 令和3年度 給付月額内訳

■在宅 ■施設 ■居住系



#### 【藤枝市の特徴】

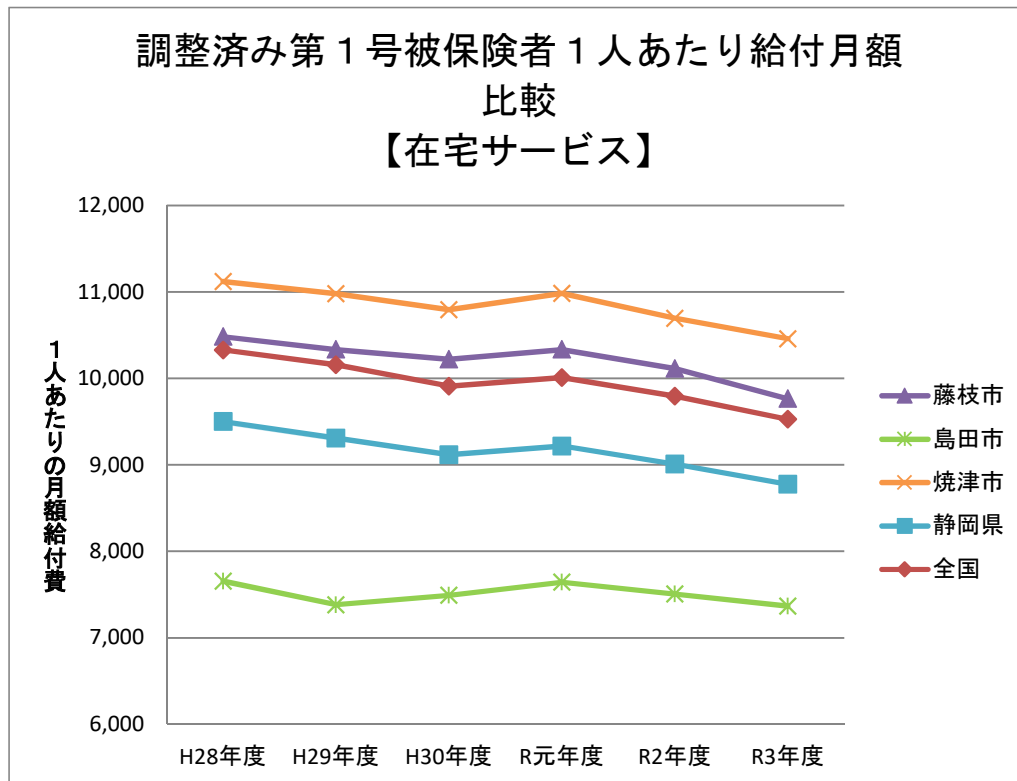
在宅・施設・居住系の各サービスの内訳に近年大きな変化はない。近年、居住系サービスは上昇傾向にあったが、令和2年度以降は各サービスともにやや減少している。

#### 【考察】

各サービスの減少傾向は令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の流行により、介護サービスの利用を控える高齢者が増えたことも要因として考えられる。

新型コロナウイルス感染症の収束状況により、介護サービスの利用を再開または新たに開始する高齢者が増えることが考えられるため、認定率の増加と併せて各サービス共に需要が高まることが想定され、各サービスの充実とともに給付の適正化に努める必要がある。

(2)在宅サービス給付月額



	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
藤枝市	10,483	10,335	10,221	10,335	10,114	9,765
島田市	7,656	7,382	7,491	7,644	7,507	7,368
焼津市	11,122	10,982	10,796	10,986	10,695	10,460
静岡県	9,502	9,311	9,120	9,218	9,010	8,776
全国	10,331	10,158	9,912	10,010	9,797	9,528

**在宅サービスとは**

自宅に訪問してもらうサービスや施設に通って利用するサービスなどです。

**【藤枝市の特徴】**

全国平均並みではあるが、県平均を上回っている。

近年、大幅な増減はないが、令和2年度以降、全国平均・県平均とともにやや減少している。

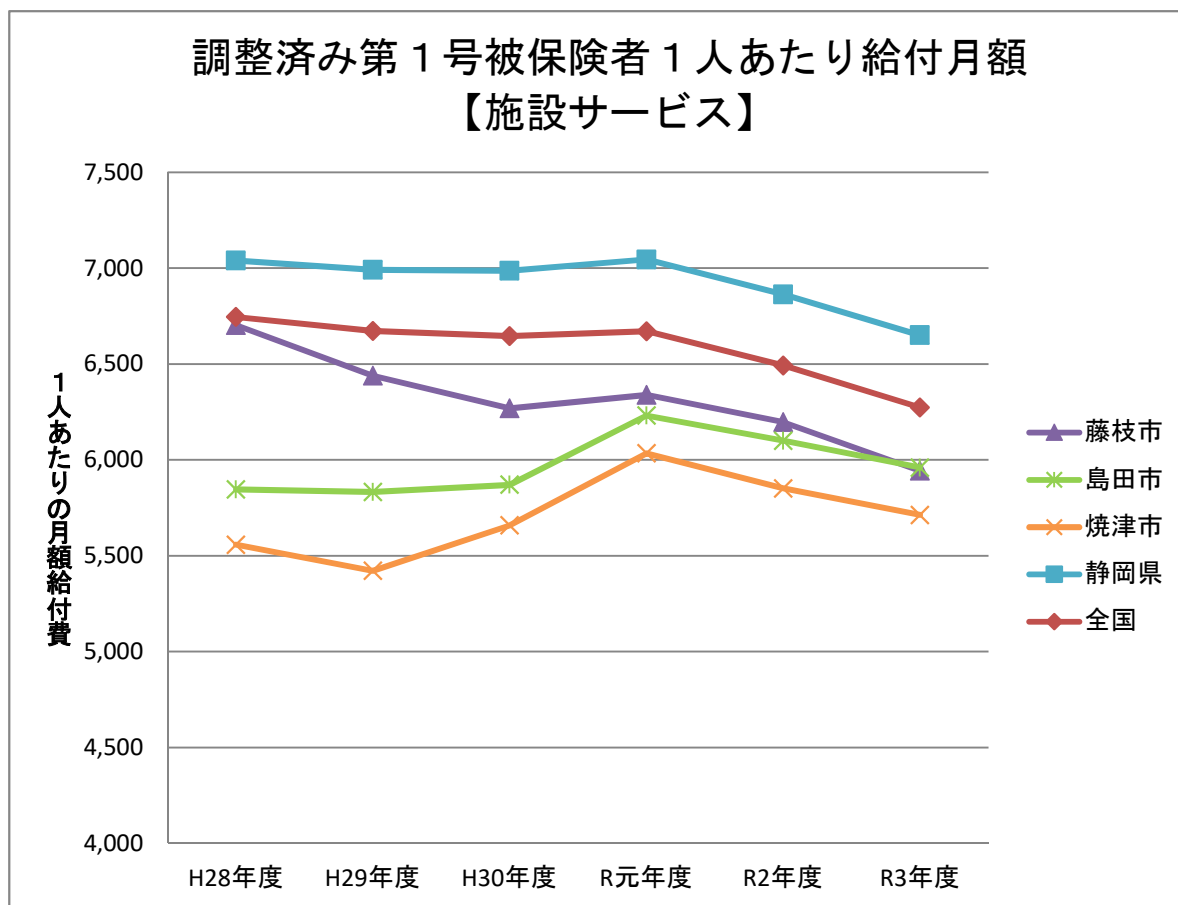
**【考察】**

大幅な増減はないが、令和2年度以降は減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の影響により、少なからず介護サービスの利用控えがあったことが要因として考えられる。

新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、介護サービスの利用が再開されることが想定されるとともに、本市の特徴として考えられる在宅での生活を維持するためのサービス利用という点においても、在宅サービスの需要は高まることが予想される。

本市では、令和4年度に小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護がそれぞれ新規開設しているほか、令和6年度以降においても介護と医療の両方のニーズに対応した看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を予定しており、在宅での生活の継続に必要なサービスの質と量の確保に努めているところである。

### (3) 施設サービス給付月額



	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
藤枝市	6,703	6,440	6,269	6,339	6,197	5,944
島田市	5,847	5,833	5,871	6,232	6,100	5,961
焼津市	5,558	5,422	5,659	6,035	5,852	5,713
静岡県	7,040	6,992	6,988	7,046	6,863	6,651
全国	6,746	6,673	6,646	6,672	6,493	6,274

#### 施設サービスとは

特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所して利用するサービスです。

#### 【藤枝市の特徴】

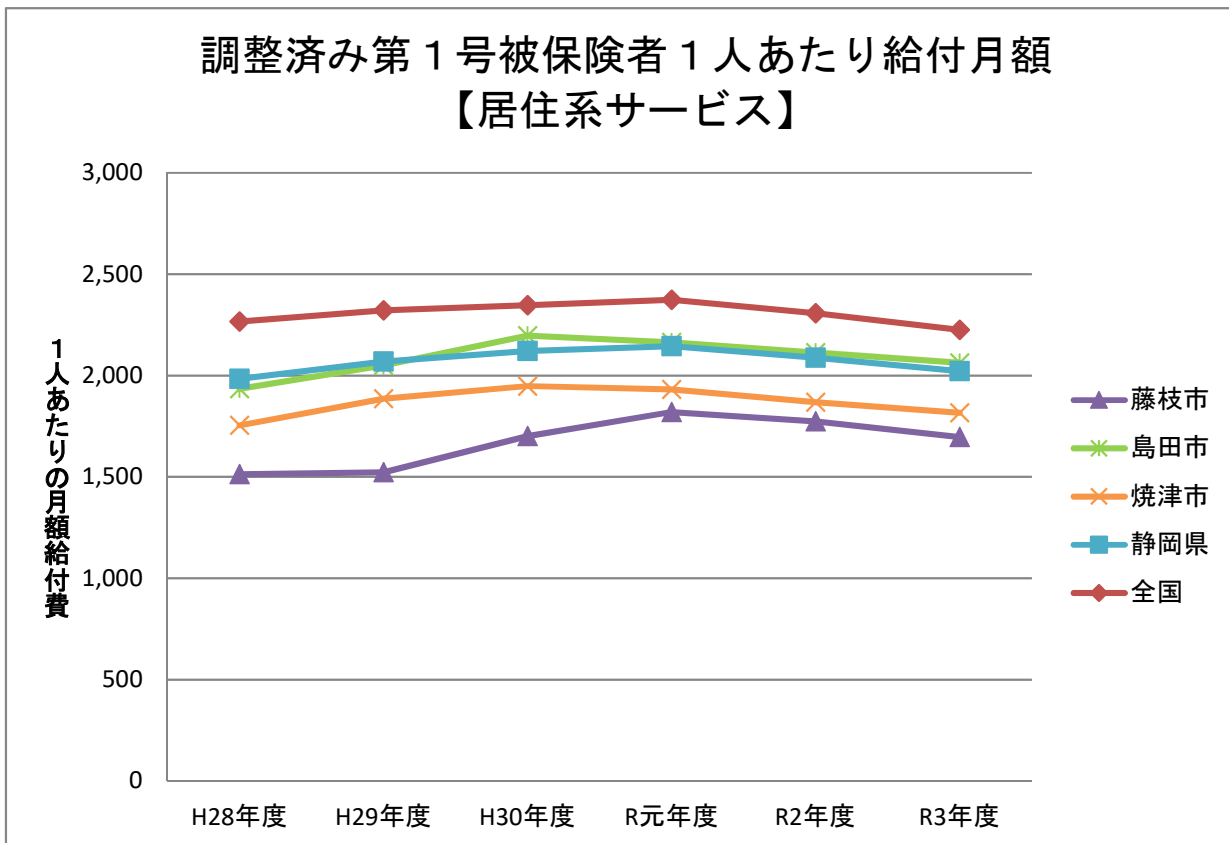
1人あたり給付月額は全国及び県平均より下回っているが、焼津市をやや上回っている。令和3年度においては、島田市とは同程度の金額となっている。

#### 【考察】

焼津市とは特別養護老人ホームや介護老人保健施設の施設数・定員数に大きな差はないが、要介護度別利用率に目を向けると、本市では焼津市に比べ、要介護5で施設サービスを利用する認定者の割合が高く、結果的に本市の認定者全体の利用率と一人当たり給付月額を押し上げていると考えられる。

第8次計画期間中(令和3～5年度)には新規施設開設はなかったが、令和5年11月に医療療養病床から介護医療院への転換が行われたため、それに伴う施設サービス費の増加が見込まれるが、第9次計画期間中では大幅な施設増床計画がないため、一定水準で落ち着くことになると予想される。ただし、近隣市における施設整備状況によっては、本市における施設サービス費の給付額が増加することも考えられる。

#### (4) 施設サービス給付月額



	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
藤枝市	1,513	1,522	1,701	1,820	1,774	1,696
島田市	1,935	2,050	2,197	2,163	2,113	2,062
焼津市	1,754	1,886	1,948	1,931	1,869	1,817
静岡県	1,984	2,069	2,121	2,145	2,088	2,022
全国	2,267	2,322	2,346	2,373	2,307	2,225

居住系サービスとは  
グループホームや特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホームなど）を利用するサービスです。

#### 【藤枝市の特徴】

全国及び県平均を下回っているが、平成30年度以降、増加している。全国的に緩やかな増加が続いていたが、令和2年度、3年度は減少している。

#### 【考察】

平成30年度以降の給付費の増加は平成29年度にグループホームが3施設開設したことが影響している。また、近年高齢者向け住まいの需要が増えてきており、令和元年度以降においても本市及び近隣市で有料老人ホーム等が新規開設されている。それに伴い、特定施設入居者生活介護の給付費も緩やかに増加を継続していくことが予想される。

また、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）についても、令和4年度に1施設が開設し、令和6年度以降も3施設の整備を予定しており、高齢者が生活を送る場の選択肢が充実することに伴い、居住系サービスの需要も高まることが考えられる。